

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターぐるんぱ		
○保護者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントに基づく個別化された支援	一人ひとりの障害特性に応じて、活動設定や個別支援計画の作成を行っており、必要に応じて支援方法の見直しや再構造化をしている。	今後も一人ひとりの特性に合わせ、理解やスキルに合わせた設定で支援を行う。
2	地域での生活全体を見据えた支援	定期的な懇談や日々の伝達を通じて、事業所内だけでなく、学校生活や家庭での状況を踏まえて支援内容を検討している。	保護者の方とのやり取りの中で、課題となっている場面や行動を踏まえて支援を行う。
3	職員同士の連携と情報共有	職員間でミーティングを行いながら、それぞれのケースに対して案を出しながら支援計画の作成を行っている。	支援に関わる職員と広く情報共有を行いながら、さまざまな視点で支援計画を作成する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によって活動スペースが不足することがある	障害特性に合わせた環境設定の一環として、原則1スペースを単一の目的で使用している。そのため、子どもさんによっては使用しづらいエリアが存在する。	活動の幅を広げるための支援を行い、屋外での活動なども含め、活動スペースを確保するための設定を検討する。
2	保護者の方への毎日の情報提供が行いづらい	送迎車を利用している児童が多く、保護者さんと対面でお話できる機会が限られるケースが多い。	懇談等で重点的にお話をするほか、日々の内容をお伝えするための方法を検討する。
3	個々に合わせた余暇や活動設定がしづらい	利用人数の増加に伴い、利用児童の障害特性の幅が広くなり、余暇活動や集団活動の設定が難しい場面がある。	利用日によるメンバーの違いを考慮した上で、事業所の構造や活動設定を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターぐるんば（放課後等デイサービス）

公表日 2025年2月14日

利用児童数 40 (2025/2/14)

回収数 32

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	8	2	2	・体を動かすスペースがほしい	・屋外での活動など、ゆとりを持って活動できる設定を検討します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	4		3		・利用人数やメンバーに合わせて体制を決定します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	2		1		・子どもさんの人数・状態に合わせて再構造化など環境設定を調整します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	3		4		・定期的に清掃、環境整備を行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30			2	・相談した内容を計画に反映してもらっている	・アセスメントをもとに、子どもさんの様子や課題・保護者の方のニーズ等も踏まえて、支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			3		・公表している支援プログラムについて、保護者の方に周知します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31			1	・学校生活での困りごとなど、相談した内容を計画に反映してもらっている	・ニーズの聞き取りを行い、個別支援計画に反映します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			1	・移行できる機関もあることで、不安の軽減になる	・ガイドラインに沿って活動計画を作成します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31			1		・計画に沿って支援を実施し、内容を保護者の方にお伝えします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1		3	・体をしっかり動かせる機会があればなお良い	・活動内容は日によって変化をつけ、室外での活動も計画します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	16	9	・分からない ・特に必要性は感じていない	・事業所全体で必要性を検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31			1		契約時に説明を行います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					引き続き、わかりやすい支援計画の説明に努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29			3	・親の見方は、主観的になりがちなので、職員の客観的で専門的な言葉に助けられている	・学習会などを通し、保護者の方のサポートを行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1	2	1	・連絡メモが簡素化されたことで、日々の様子が分からない。	・保護者の方への情報共有について、実施方法を検討します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2				・送迎時など、こまめに家庭状況などをお聞きし、支援に反映します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1		1		・懇談の機会を通じ、家庭での課題を共有します。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	9	8	・学習会が開催されている ・保護者会を作ってほしい	・保護者の方のニーズをもとに、必要性について検討します。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	1	1	・週一回の利用なので、問題があっても対応が難しいと感じることがある	・利用時にお話を伺いながら、実施可能な支援について検討します。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2			・困り事に対して相談がしやすく、適切なアドバイスに感謝している	・お迎え時など定期的に情報伝達する機会を設けます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2		8	・長期休暇の様子などは、ときどきホームページで紹介されている	・活動の様子は懇談資料でお伝えし、ホームページ等にも掲載します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1	・写真の使用については事前に確認をもらっている	・個人情報の取扱いはガイドラインに則り、外部公開の場合は事前に許可をいただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	2	10	・感染症や緊急時の対応（子どもさんの怪我が体調不良等）について、マニュアルを作成している。	・必要なマニュアルや対応方法について、適宜見直しを行います。 ・必要な訓練の実施について検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	1	14	・児童発達支援とあわせて、職員向けに防災訓練を実施している。	・定期的に防災訓練を実施します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1		7		・ケガや事故への対応を全体で共有し、再発防止に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		7		・怪我や事故は、発生経緯や再発防止策を速やかに保護者さんに伝達します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	2			・楽しく通うことができている。	・見通しを持って来所できるよう、子どもさんに合わせて設定を行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	6			・通うことをとても楽しみにしている	・活動内容を楽しめるよう、子どもさんの興味関心を活用しながら活動を計画します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2			・子どもの状況に合わせて個別に対応してくれている。	・それぞれのニーズに合わせて、個別化した支援を行います。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日				
児童発達支援センターぐるんば（放課後等デイサービス）		2025年2月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・生活シナリオを作成し、子どもさんが活動するエリアの調整を行っている。 ・必要に応じて別室も使用している。	・定期的に生活シナリオを見直し、必要に応じて屋外での活動も取り入れていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員の専門性向上のため、法人内外の研修に参加する機会を設けている。	・今後も継続的に事業所内で研修を行ったり、外部の研修に参加したりします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもさんの障害特性や社会性に合わせて環境を調整し、必要に応じて再構造化を行っている。	・障害特性や社会性に合わせた環境設定の中で、子どもさん1人ひとりに合った手立て等を活用しながら、支援を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・子どもさんに応じて、別室で対応する機会を設定している	・個別対応をする場合も、必要な学習や社会的な参加につながる活動設定を行います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・課題や改善案について、職員会議で協議している。	・各職員が改善の意識を持って取り組み、職員全体で協議できるようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年1回、保護者の方向けに評価表を配布し評価を受けている。	・日常的に保護者の方のニーズを聞き取りながら、改善対応に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・法人全体で協議、検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内研修や外部研修に参加し、復命書や朝礼の場で内容を共有するようにしている。	・今後も職員の専門性を高めていけるよう、継続的に研修に参加します。 ・研修内容を共有し、よりよい支援のための提案機会を設けます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントや子どもさんの課題、保護者の方のニーズ等を踏まえて、個別支援計画を作成している。 ・学校での様子や課題についても聞き取り、個別支援計画に反映している。	・アセスメントをもとに、子どもさんの様子や課題・保護者の方のニーズ等も踏まえて、支援を行います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・事業所で設定された、アセスメントツール（項目）や評価表に沿って実施している。	・継続的にアセスメントを行い、子どもさんの理解やスキルに合わせて個別支援計画を立案し、療育を行います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ケース担当職員を中心に、ミーティング等で協議したうえで、実施・振り返りを行っている。	・今後も職員全体で協議や振り返りをしながら、進めていきます。 ・特に、社会性やコミュニケーションなど、学校では学びにくい部分を重点的に学習します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・定期的に生活シナリオを更新し、スケジュールの内容が習慣にならないように対応している。	・集団活動の内容など、工夫できる点やアイデアがある場合は会議等で検討します。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・学年や社会性の違う子どもが利用しているため、同じ活動をする際にも、それぞれのスキルに合わせて役割を持たせたり、目標設定を変えて対応している。	・今後も、本人のスキルや理解に合わせて活動の設定を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で確認を行うほか、その日のシナリオを手元で確認できるようにしている。	・情報共有の利便性・確実性について検討しながら、今後も職員全体で情報共有する機会を設定していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝礼で確認を行うほか、その日のシナリオを手元で確認できるようにしている。	・情報共有の利便性・確実性について検討しながら、今後も職員全体で情報共有する機会を設定していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ケース記録を作成しているほか、勉強で取り組んだ内容については、共通の書式で記録を残している。	・ケース記録と併せて、継続して活動の記録を共有できるようにします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回、モニタリングを実施している。	・今後も定期的なモニタリングを行い、本人の特性や状態に合わせた目標設定をします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・個別支援計画に基づき、個別場面や集団場面での活動を設定している。	・今後も個別支援計画に基づいて、必要な経験を積むための活動を設定していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動内容やスケジュールを選択する機会を設定している。	・自己選択する機会を設定し、選択スキルの学習を行います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・サービス担当者会議の持ち方について、相談支援事業所と協議・検討します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて、学校の教員と連携・情報共有を行っている。 ・行事予定などは、保護者の方を通じてお知らせいただいている。	・その都度、必要な情報共有を行い、連携して対応できるよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援から継続利用の子どもさんが多い。 ・新規で利用する子どもさんについては、必要な引継ぎを行っている。	・移行前のケース記録や資料をもとに、一貫した支援が行えるように努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・他の事業所へ移行するケースは、必要な支援内容などを引き継いでいる。	・移行先の職員、対象児童の保護者も含め、移行資料をもとに連携を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・職員や保護者の方向けに行う研修の講師を依頼し、必要に応じて助言を受けている。	・他機関や専門機関の研修に継続的に参加し、連携・対応できるように努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・子どもさんの障害特性や保護者の方からのニーズをもとに、設定の有無について検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・月1回、子ども部会へ参加している。	・今後も、地域でのニーズ等について共有を行い、課題の解決に協力します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々、送迎時に様子をお伝えしている。 ・各活動の様子については、資料にまとめて懇談時にお伝えしている。	・送迎時や懇談資料を活用して、保護者の方と丁寧に情報共有を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・学習会を開催し、参加できなかった方にも資料の提供を行っている。	・今後も保護者の方が、障害特性の理解や支援方法等の情報を得られるような場を設定していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に、書類をもとに説明を行っている。	・内容に変更があった場合は、随時保護者の方にお伝えします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・年2回、個人懇談を行い、必要に応じて個別に面談を実施している。	・今後も保護者の方からの要望を聞きながら、家庭との協同に努めます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者の方のニーズをもとに、必要性について検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付の担当者を設置している。	・受け付けた内容を書面で記録し、対応や改善方法については職員全体で協議・共有します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・法人機関誌を発行している。 ・長期休暇の活動内容を中心に、ホームページで紹介している。	・予定や活動概要等、保護者の方への発信方法について検討します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・写真の使用に対しては、事前に確認を行い、書面で同意を得ている。	・職員全体で意識して取り扱います。また必要に応じて、適切な取り扱い方について協議します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもさん一人ひとりの理解に合わせて、手立てを活用した支援を行っています。	・子どもさんの理解やスキルに合わせて、継続的にコミュニケーションの支援を行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人全体では実施している。	・保護者の方のニーズや必要性を踏まえて、法人全体で検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・感染症や緊急時の対応（子どもさんの怪我が体調不良等）について、マニュアルを作成している。	・必要なマニュアルや対応方法について、適宜見直しを行います。 ・必要な訓練の実施について検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・児童発達支援とあわせて、職員向けに防災訓練を実施している。	・定期的に防災訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・基本的には飲食の提供を行っていませんが、提供時には事前に保護者に確認をしています。	・飲食物の提供をする際は、保護者の方と連携し、事前の確認や対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットや怪我があった時には全体で共有している。	・ケガや事故への対応を職員全体で共有し、再発防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修の機会を定期的に設定し、職員会議の中で全体確認を行っている。	・継続的に研修に参加し、全体で意識して取り組めるよう確認や振り返りを行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・必要な対応については保護者の方に説明し、了解を得ている。また、その旨を懇談資料に記入し、面談の場で説明をしている。	・可能な限り身体拘束を行わない対応を事業所全体で協議し、やむを得ない場面は保護者の方に資料等で説明を行います。	